

# With

東北大学病院  
地域医療連携センター通信

第14号  
2009.11

CONTENTS

- 1…… 第3回市民公開講座開催
- 2…… 新外来棟のご紹介
- 3…… 心療内科のご紹介
- 4…… PET検査の予約枠が増えました！  
    コーヒーブレイク
- 5…… 感染管理室のご紹介  
    看護部キャラクターのご紹介
- 6…… がん診療相談室主催  
    市民向けミニ講座を開催して  
    WOCセンター市民公開講座  
    開催のお知らせ
- 7…… NST研修会のお知らせ
- 8…… 小児救急看護認定看護師のご紹介  
    新患予約制診療科のお知らせ
- 9…… 新患日一覧  
    血液・免疫科完全予約制のお知らせ  
    皮膚科の新患予約について



人にやさしく未来をみつめる—

東北大学病院

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町1番1号  
TEL 022(717)7000(代)

地域医療連携センター

TEL 022(717)7131(直通)  
FAX 022(717)7132

★ SPECIAL

## 第3回 市民公開講座を開催しました

10月17日(土) 電力ホールを会場に第3回東北大学病院市民公開講座「女性の病気を知り母性を守る～東北大学病院の取り組み～」を開催しました。

市民公開講座当日は晴天にも恵まれ約700人の市民が来場し大いに賑わいました。3部構成で行われ、第1部は女性のがんをテーマに基調講演が行われました。早期発見・早期治療が何より大切。積極的に検診を受けて欲しいという先生からのメッセージが込められた講演に来場者は大変熱心に耳を傾けていました。第2部は更年期障害をテーマに基調講演が行われた後、いよいよ女優のかとうかず子さんに登場して頂いて漢方内科武田卓先生との対談が行われました。武田先生からは信頼できるかかりつけの婦人科の先生を持ち、一人で悩まず気軽に相談して欲しいというアドバイスがあり、かとうかず子さんからはご自身の体験談を交えながら大変元気づけられるお話を頂きました。ときおり会場内には笑い声が響き渡り終始和やかな対談となりました。第3部は恒例のパネルディスカッションが行われ、寄せられた質問へ各分野の専門の立場からのアドバイスがありました。熱心なまなざしの参加者の姿がとても印象的でした。次回は平成22年7月17日(土)に仙台国際センターで「呼吸器病から市民を守る(仮)」をテーマに開催する予定です。



第3回 東北大学病院市民公開講座 「女性の病気を知り母性を守る」

マンモグラフィ検診の普及 乳がん検診の普及

- 1) 生命予後の改善
- 2) 手術方法の選択幅が広がる
- 1. 乳房温存療法を選択
- 2. 経膈リンパ節郭清の省略
- 3) 抗がん剤による追加治療が不要になる

## 新外来診療棟が稼働を始めました!

既存外来棟の北側に建設された新外来診療棟が、8月より順次稼働を始めています。新外来診療棟は地下1F～地上5Fの建物で、現在は1F～3Fまでのフロアで診察が開始されており、今後は3F～5Fに歯科部門の移転が予定されています。稼働している1F～3Fまでの様子をご紹介します。



### 3F

▶小児領域を集めたフロアです。可愛い壁紙やイラストがお出迎えしてくれるフロアです。



診察室

パンダやキリンなどのイラストが出迎えてくれる診察室です。「〇〇くん、パンダのお部屋まで来て下さ〜い。」



ポニョの廊下

みんな大好きなポニョのイラストが迎えてくれる廊下です。



キッズスペース

おもちゃがたくさん! 子供たちが待ち時間を飽きずに過ごせるよう設けられたスペースです。

▶消化器部門、呼吸器部門の他、消化器内科と心療内科を中心に構成された内視鏡センターが設置されたフロアです。

### 2F



消化器内視鏡センター

消化器内科と心療内科を中心に構成され、新たに設置されたセンターです。



消化器内科・消化器内視鏡センター受付

患者様をお迎えする窓口です。患者様、スタッフが双方に見やすいよう広い窓口になっています。



診察室

清潔でゆったりとした作りになっています。プライバシーに配慮されており、安心して診療を受けていただけます。

### 1F

▶産科・婦人科領域と乳腺領域からなる女性センターが設置されました。その他に放射線部門、泌尿器科、移植・再建・内視鏡外科が集まったフロアです。



エレベーターホール

広々とした作りで、晴れた日には大きな窓から太陽の明るい日差しが降り注ぎます。



授乳室

小さいお子様と一緒に患者様の為に授乳室が新しくなりました。



産科中待合

出産に関する掲示がたくさん! スタッフ手作りのポスターもあります。

## 心療内科のご紹介

科長 本郷道夫 教授

### 心療内科の特色

ストレスはこころへの負担ばかりでなく、身体への負担も引き起こします。緊張すると血圧が上がるのはストレスが身体に影響する典型的な現象ですが、一時的なものであれば医学的対応は必要ではありません。慢性的に持続するストレスが、医学的な対応を必要とする状態になった時、心療内科での専門的対応が必要になります。ストレスは、意欲低下などの抑うつ症状（気力がなくなる、楽しみがなくなる、など）や何かにつけて不安が高じるといふ精神心理症状を起こすと同時に、内臓、ことに消化管の機能異常を起こしたり、身体には実際の病気がないのに、何か病気があるのではないかと感じる症状が起こってきます。ストレスのために、日常生活行動に変化が起こって病気になることもあります。

心療内科ではこのような病気の中でも、消化管の機能異常、摂食障害、身体症状を主とする気分障害を積極的に診察しています。

### 摂食障害の診察

極端なやせがあるのに食事が十分に食べられない、あるいは食べることが怖い、という症状があるのが拒食症です。また、食べ始めると、普通では考えられないくらいに食べ続け、苦しくなると吐いてしまう、という行動をとってしまうのが過食症です。気軽なダイエットからこのような病気になってしまう人もいますし、強いストレスからなってしまう人もいます。若い女性に多い病気ですが、男性や中高年女性に起こることもあります。最近、増加の傾向がありますが、摂食障害を専門的に治療するには入院設備のある心療内科が最適です。治療は、単に栄養をつけるだけでなく、この状態にいたった心理的問題をはじめとして、家庭や学校、勤務先などの社会環境の問題なども丁寧に検証・考察して行います。

摂食障害の女性では、しばしば無月経になり、産婦人科で低体重性無月経としての治療でとどまっている患者さんがみられます。低体重性無月経の時は早めに心療内科に相談して下さい。

### 機能性消化管疾患

ストレスで胃痛や下痢などの消化器症状が起こりやすいのは多くの人が知っていることであり、体験したことのある人も決

して少なくないでしょう。内視鏡検査で異常がないのに、様々な消化器症状があるとき、多くはストレスから誘発されています。ストレスは自分では気づいていないことも少なくありません。機能性胃腸症、過敏性腸症候群はその代表的な病気です。東北大学心療内科では、このような患者さんに最先端の機能検査などで、その原因探索と適切な治療とを行っています。胃電図は胃の動きに伴う電氣的変動を記録するもので、患者さんへの負担が少ない検査法です(写真1)。

消化管の機能はしばしば内視鏡やレントゲンでも確認できるような病気になることもあります。むねやけのひどい胃食道逆流症(GERD)、食べ物が食道から胃に流れて行かなくなるアカラシアという病気、腸の動きが極端に悪くなってしまう偽性腸閉塞、など、消化管の動きが障害される病気も私たちが専門的に治療しています。私たちが食道の機能検査として行う多チャンネル食道内圧記録法は世界でも最先端の検査法です(写真2)。

### 心身症

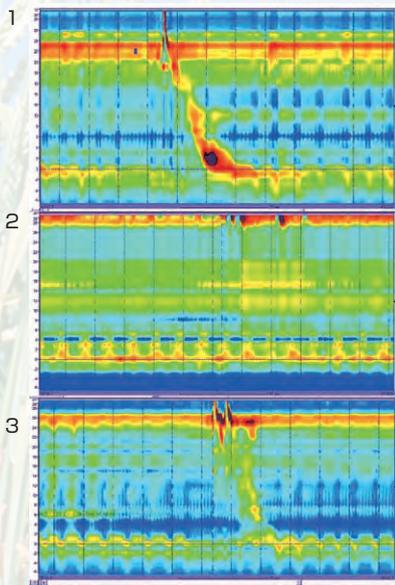
心身症という言葉には様々な病態が含まれます。抑うつ、不安の症状と身体症状とがある場合、精神心理症状および身体症状への対応を併せて行い、ストレスと症状との関連を解き明かしていきます。その中で、ストレス回避の方法、ストレスを上手に受け止める方法、などのストレスマネジメントを学習することで、ストレス対策を進めていきます。

### 診療体制

主に消化管の症状で困っている患者さんは消化器グループが、気分障害、摂食障害などは内分泌グループが診療にあたります。基本的に病棟でも外来でも、グループ診療で加療を行います。特定の医師が主治医になるわけではありませんが、グループで診療を行うことにより患者さんが気づいていない病気の原因を多角的に探ったり、治療法でいろいろな方法を試みる事が可能になると考えています。

なお、外来は基本的に予約制です。緊急の場合には電話でご相談ください。

●ご連絡先 TEL 022-717-7734 (心療内科外来)

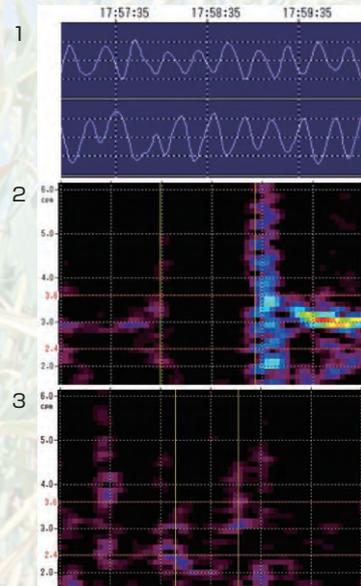


●写真1  
食道運動の画像表示

説明：  
食道の運動の状況を視覚的に捉える記録法（1.正常の食道運動、2.収縮運動の消失(アカラシア)、3.収縮運動の著しい低下）

●写真2  
胃運動の画像表示

1は胃の運動記録波形で「胃電図」と呼ぶ。この波形の出方をカラーマッピング表示することで、2の正常者のように食後(右1/3)は鮮やかに活動が視覚化されるが、3の胃の運動障害例ではこの活動が見られない。



 INFORMATION

## PET検査の予約枠が増えました!

当院では本年4月に2台目のPET/CT装置を導入し、検査までの待ち時間が大幅に短縮されています。

3月までは1日最大12枠だったため、予約から検査まで3週間程度を要していた事もありましたが、7/27(月)より本格的に2台体制での稼働が開始し、1日最大18人枠へと大幅に検査枠が増加しました。それに伴い、現在では**予約から数日以内に実施**できるようになっております。

待ち時間が短縮され、院外からの患者様の検査にも早急な対応



●平成21年4月に導入した新PET/CT装置

が可能となりましたので、ぜひご利用ください。なお、**検査ご希望の患者様のご予約は地域医療連携センターで受け付けております**。申込方法の詳細につきましてはTEL022-717-7131(地域医療連携センター直通)までお問い合わせください。

### 〔PET検査予約方法〕

- ① 地域医療連携センター宛に「診療予約申込書」および「FDG PET検査依頼書」をFAXにてお送りください。  
※所定の様式は当院ホームページよりダウンロードすることができます。
- ② 予約日を調整し、15分以内に予約票を返送致しますので患者様にお渡し願います。  
※事前に022-717-7131(地域医療連携センター)へお電話を頂ければ空き状況をお知らせします。

### 〔新設されたPET/CT装置の特徴〕

既設装置と同じくシーメンス社製のPET/CT装置です。LSO検出器を搭載したPET装置と40列のマルチスライスCTの複合機で、全身の腫瘍検索に加え、心臓の心電図同期検査も行うことができますようになっています。

## ～高度救命救急センターのリアルな毎日をお届けします～ \*コーヒーブレイク その14

### 日頃から備えを!

みなさんこんにちは。救急部の小林です。まだまだ4年目の若造ですが、どうぞよろしく。さて、みなさんは心肺蘇生をご存知ですか?病院に勤めていらっしゃる方なら、もちろんご存知のことと思います。目の前で人が急に倒れたり、反応がなくなってしまうたりした場合の対処方法です。みなさん自信はありますか?smoothに対処できますか?

東北大学病院救急部は、病院外の救急要請を受けられるばかりではなく、病院内で急変患者さんが出た際にも出動をします。例えば、CT室で、CT検査中に患者さんの反応が突然なくなった!!とか、病棟で突然患者さんの反応がなくなりました!!とか、病院の駐車場で倒れている人がいる!!などです。一時的にちょっとふらついただけなど非常に軽症な方もいれば、非常に重症で集中治療室での入院が必要になる方もいます。院内の救急コールが入ると、僕らは緊急処置用のデ

バックを背負って現場に向かいます。このバックの中には、挿管道具から点滴、昇圧剤などの薬剤、包帯など、緊急事態に対応できる様々な物が入っています(背負うと意外に重たいんですよ、これが…)。全速力で現場に向かいますが、それでも、エレベーター移動など時間がかかることもしばしばです。やはり、それぞれの現場で居合わせた方(警備員さんや看護師さんが中心ですが、患者さん家族も含まれますね)による対応が欠かせません。病棟や開業医の先生方など、“心電図モニターやAEDはあるけど、長年使っていないでホコリをかぶっている”なんてことはありませんか?緊急の時に電池が切れていたり、リード線が外れていたりなんてことになりかねません。緊急の時は、誰も慌てるものです。対応が一分一秒を争います。慌てないためにも、日頃から機械の使い方をみんなで復習したり、患者急変時の対応の予行演習をしたりしておいて下さいね!!それではまた。

高度救命救急センター医師 小林 正和



＋SERIES / 診療施設紹介

感染管理室のご紹介

室長 賀来 満夫 教授

感染管理室は感染の予防対策や診断・治療法に関する適切な情報提供やアドバイスを行っていく部門として、2000年7月に開設されました。2005年10月からは病院長直属の部門として活動しております。

医療施設にはMRSAなど薬剤耐性菌による感染症にかかりやすい患者さんが多くおられます。特に近年では医療技術の発達により血管カテーテルなどの医療処置、ステロイド薬や免疫抑制剤の投与、抗がん化学療法などに伴い、日和見感染症も多くみられることから更なる感染管理の発展が期待されています。また、医療従事者の針刺し切創などによる職業感染症など、確実な感染対策が求められております。

感染管理室では、東北大学病院の感染制御におけるキーステーションとして感染制御医、感染管理認定看護師の専従者および検査技師を配置しているほか、薬剤師、事務員、栄養士など各職種からなるインフェクションコントロールチーム(ICT)とともに活動を行っています。

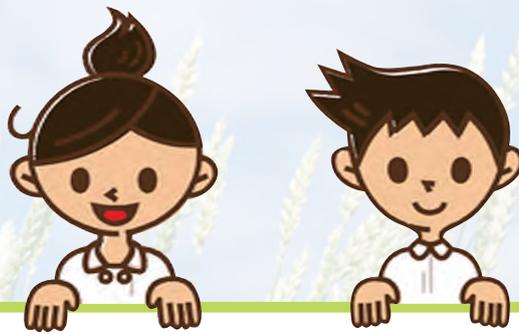


また、MRSAだけでなく、新型インフ

ルエンザの流行でも明らかなように、感染症は伝播するという特殊性をふまえ、個々の医療機関での対応に加えて、地域の医療機関が緊密に連携することも大変重要であります。現在、教育機関としても、院内の感染対策に留まらない活動を行っており、地域の医療機関とネットワークを結び、関連する部署である病院検査部、東北大学大学院内科病態学講座 感染制御・検査診断学および、臨床微生物解析治療学とともに共同・協力しながら地域における感染対策活動を推進しております。



INFORMATION



看護部キャラクターのご紹介

看護部では、毎年、次年度の看護職員募集に向けて採用パンフレットを作成しています。

「H22年度看護職員募集案内」には、初めて看護部のシンボルキャラクターを採用しました。名前を看護職員から募り、「ミルちゃん」「マモルくん」に決定しました。名前は、看護の【看る】【護る】から付けられ、名付け親になった3名の方には、副賞とともに「名付け親証明書」が看護部長より贈呈されました。「ミルちゃん」「マモルくん」は、看護部キャラクターとして、看護職員募集案内、就職説明会等で大活躍しています。これからも、看護部の活動を広く伝えたり、皆さんにもっと愛され、親しみをもってもらえるよう、様々な制作物に積極的に使用して、看護部のイメージアップをしていきたいと思っております。皆さん、どうぞよろしくお願いたします。



Illustration HIROSHI KATONO

EVENT

## 平成21年度 第1回 東北大学病院がん診療相談室 市民向けミニ講座

テーマ：「がんの痛みは我慢しないでください」

東北大学病院のがん診療相談室は院内がんセンターと地域医療連携センターが協働で運営を行っています。今回、今年度初めての市民向け（患者さん・ご家族等対象）ミニ講座を開催しました。がん性疼痛認定看護師 武田真恵さんを講師とし、「がんの痛みは我慢しないでください」というテーマで講話を行い、参加者からはさまざまな思いを聞くことができました。広報が院内に限定しましたので、参加者は患者さん4名、患者会事務局の方2名、院内看護師2名でした。

認定看護師のお話は具体的で非常にわかりやすく、参加者からは、痛みは我慢するものと思っていた、モルヒネ=末期という印象だったが違うことが分かった、初めから薬を処方してもらえることがわかって安心した、などの感想が聞かれました。また、手術をしないという選択をしたが、その後のフォローがしてもらえなくなったとか、退院後の不安を訴える方もおいでになり、切羽詰まった自分の気持ちを話される場ともなりました。患者会事務局の方からは痛みの対応ができる開業医を教えてくださいなどの意見が出されました。



スタッフは、がんと闘う方の強さを感じるとともに、自分の思いを話せる場を必要としていることを痛感したので、少人数でもこのような機会を続けていくことが大切と考えています。

今回は、化学療法・放射線治療中の食欲低下時の工夫を予定しておりますが、今後も患者さんの希望に添った内容の講座を企画していきたいと思っております。



EVENT

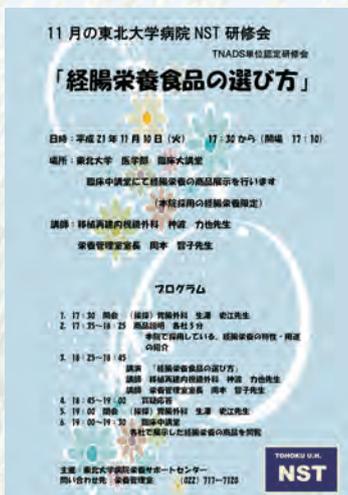
## 2009年度東北大学病院WOCセンター 市民公開講座のお知らせ

今年度も東北大学病院WOCセンター主催の市民公開講座を開催いたします。一般市民への啓発活動として2005年度に第1回を開催してから、今回が第5回目となります。毎回、仙台市民はもちろんのこと宮城県外からも多くのご参加を頂き、大変好評を得ております。

多数のご参加をお待ちしております。

- 日 時 平成21年11月14日（土）14時～16時
- 場 所 仙台シルバーセンター
- 講演内容 「メタボの運動療法と食事療法」
- 講 師 東北大学病院  
内部障害リハビリテーション科 伊藤 修 先生

**参加費 無料**  
申込み不要です。



## NST研修会のお知らせ

東北大学病院栄養サポートセンターでは「NST研修会」を年6回企画しております。今回のテーマは「経腸栄養食品の選び方」です。

移植・再建・内視鏡外科神波力也先生と栄養管理室岡本智子室長を講師に迎え、講演を行うほか、本院で採用している経腸栄養の特性・用途について、各社より商品のご説明を頂きます。別会場では各社の経腸栄養の商品を展示致しますので、この機会に見て・触れて・より知識を深めませんか？当院スタッフはもちろんの事、他医療機関からのご参加も大歓迎ですので、皆様のご来場をお待ちしております。

**参加費 無料**  
申込み不要です。

- 日 時：平成21年11月10日（火）17:30から（開場17:10）
- 場 所：東北大学医学部 臨床大講堂  
\* 臨床中講堂にて経腸栄養の商品展示を行います（本院採用の経腸栄養限定）
- 講師：移植・再建・内視鏡外科 神波 力也 先生  
栄養管理室 岡本 智子 室長

＋ SERIES / 認定看護師紹介

認定看護師とは、「看護ケアの広がりや質の向上を図るために、日本看護協会が認めた特定の分野における熟練した看護技術と知識を有する看護師」をいいます。現在は17の認定分野があり、当院では、13分野17名の認定看護師が「実践」「指導」「相談」の役割を果たすべく活動を行っています。今回は、小児救急看護認定看護師の活動を紹介します。

第11回：小児救急看護認定看護師

小児救急看護認定看護師 竹森 加菜子

小児救急看護認定看護師は2005年に誕生し、現在88名の認定看護師が全国で活躍しています。小児救急看護認定看護師が関わる領域は①フィジカルアセスメント②クリティカルケア③救急蘇生法④集団災害⑤家族看護・育児支援⑥虐待発見と予防、と多岐にわたります。またこれらの領域は明確な境界が引



西5階病棟 プレイルーム

かれてはいるわけではなく、相互に関連しあっており多職種と協働する機会も多々あります。

私は現在、小児センターにおいて病棟勤務を行っています。私のいる小児センターでは小児科（主に心疾患）・小児外

科・形成外科・歯科の子どもとその家族に対し看護を行っています。手術目的の入院や他院からの緊急入院も多く、フィジカルアセスメント・クリティカルケア・救急蘇生法は常に実践が求められています。また、誕生日に他院から転院する子どももおり、家族看護・育児支援も求められます。



実践の他に同病棟のスタッフへの指導も行っています。フィジカルアセスメント・救急蘇生法については3か月に一度、医師と協力し小児の急変時のシミュレーションを行っています。また、院内の救急看護認定看護師・集中ケア認定看護師と協働し院内教育にも携わっています。新人看護師対象の急変対応や、2年目の看護師対象のフィジカルアセスメントの講義・演習を行っています。また、5年以上の講義希望看護師を対象にACLSや呼吸ケアについて講義・演習コースを開催しています。

小児センターが稼動し、これまで以上にさまざまな疾患を抱えた子どもが入院してくると思います。子どもが安心して医療を受けられる環境を整え、また看護技術を提供するために自己研鑽に励み、これからも子どもの権利と尊厳を念頭に活動を行っていきたくと考えます。

INFORMATION

新患予約制診療科のお知らせ

当院では全診療科で新患の診療予約を導入しております。特に下記診療科は新患が完全予約制となっておりますので、患者様をご紹介の際には必ずご予約の手続きを経てから来院して頂きますようご案内をお願い致します。なお、予約申し込みは紹介元医療機関からの受付とさせて頂いておりますので、原則として患者様本人からは

お受けしておりません。ご協力の程、よろしくお願い致します。

完全予約制診療科以外でも、ご予約頂きますと患者様の待ち時間短縮となり、診療科によっては初めから専門外来で診察することが可能ですので、是非ご利用ください。

完全予約制診療科

内科	循環器内科	感染症科	腎・高血圧・内分泌科	血液・免疫科
	糖尿病代謝科	消化器内科	老年科	漢方内科
	心療内科	呼吸器内科	腫瘍内科	
外科	肝・胆・膵外科	胃腸外科	移植・再建・内視鏡外科	乳腺・内分泌外科
	心臓血管外科	整形外科	形成外科	麻酔科
	緩和医療科	呼吸器外科		
産婦人・泌尿器	婦人科	産科	泌尿器科	
脳・神経	神経内科	脳神経外科	脳血管内治療科	精神科
小児	小児科	小児腫瘍科	遺伝科	小児外科 小児腫瘍外科
感覚器	皮膚科	眼科	耳鼻咽喉・頭頸部外科	
リハ	肢体不自由リハ科	運動機能再建リハ科	内部障害リハ科	高次機能障害リハ科
放射線	放射線治療科	放射線診断科	加齢核医学科	
その他	フットセンター	WOCセンター		

※ご予約のお申し込みに対する予約票の返信は月曜～金曜（祝祭日を除く）の8:30～17:15とさせて頂いておりますが、休診日を含め時間外でもFAXでのご予約申し込みは24時間受け付けております。時間外にお送り頂いたご予約への返信につきましては、翌診療日の午前中に対応させて頂きます。

なお、時間外にお送り頂いたお申し込みのうち、ご予約希望日が翌診療日のご予約については対応できかねる場合がございますのでご了承ください。

\*新患のご予約に関するお問い合わせ

地域医療連携センター TEL 022-717-7131（直通）

**\*新患日一覧\***

※受付時間は8時30分～11時までとなっております。(皮膚科は10時まで、眼科は11時30分までとなっておりますのでご注意ください)  
 ※( ) 内の電話番号は各診療科外来です。 (H21.10現在)

循環器内科 (022-717-7728)	月～金	移植・再建・内視鏡外科 (022-717-7742)	食道外科：水・木	小児外科 (022-717-7758)	月・木
感染症科 (022-717-7766)	月・水・金		血管外科：月・火	皮膚科 (022-717-7759)	月・火・水・金 受付時間(8:30～10:00)
腎・高血圧・内分泌科 (022-717-7778)	水・金	心臓血管外科 (022-717-7743)	移植・肝臓外科：火・金	眼科 (022-717-7757)	月～金 ※予約制 受付時間(8:30～11:30)
血液・免疫科 (022-717-7730)	水・金 ※完全予約制		木・金	耳鼻咽喉・頭頸部外科 (022-717-7755)	月・水・金
糖尿病代謝科 (022-717-7779)	火・金	整形外科 (022-717-7747)	月～金	肢体不自由リハ科 (022-717-7751)	月・水・木・金
消化器内科 (022-717-7731)	火・金	形成外科 (022-717-7748)	月・水・金	運動機能再建リハ科 (022-717-7751)	月・水・木・金
老年科 (022-717-7736)	水 ※もの忘れ外来は 完全予約制	麻酔科 (022-717-7760)	月・水・金 ※術前相談 のみ	内部障害リハ科 (022-717-7751)	月・水・木・金
漢方内科 (022-717-7736)	水午前・金午後 ※予約制	緩和医療科 (022-717-7768)	月・木 ※完全予約制	高次機能障害リハ科 (022-717-7751)	月・水・木・金
心療内科 (022-717-7734)	月・水・金 ※完全予約制	呼吸器外科 (022-717-7877)	月・水・金	放射線治療科 (022-717-7732)	月・木・金 ※完全予約制
呼吸器内科 (022-717-7875)	月・水・木・金	婦人科 (022-717-7745) 産科 (022-717-7746)	月～金 ※完全予約制	放射線診断科 (022-717-7732)	CT・MRI検査外来 月～金 インターベンション・画像診断外来 月・木
腫瘍内科 (022-717-7879)	月・水・木 ※完全予約制	泌尿器科 (022-717-7756)	月・火・水・金 ※完全予約制		
肝・胆・膵外科 (022-717-7740)	月・金 ※完全予約制	神経内科 (022-717-7735)	火・金	加齢核医学科 (022-717-7880)	火・水・木
胃腸外科 (022-717-7740)	一般新患：月・水・金 ※完全予約制	脳神経外科 (022-717-7752)	月・木・金	総合診療部 (022-717-7509)	月～金
	胃腸悪性疾患：水 ※完全予約制	脳血管内治療科 (022-717-7752)	火・金		
	炎症性腸疾患：木 ※完全予約制	精神科 (022-717-7737)	月・水・金 ※完全予約制		
乳腺・内分泌外科 (022-717-7742)	乳腺外科：月・水・木	小児科 (022-717-7744) 小児腫瘍科(022-717-7878)	月～金		
	甲状腺外科：火・金	遺伝科 (022-717-7744)	月～金 ※完全予約制		

INFORMATION

**●血液・免疫科完全予約制のお知らせ**

血液・免疫科は10月1日より**完全予約制**となりました。

ご紹介頂く医療機関におかれましては、お手数をお掛けしますが、患者様の待ち時間短縮のため必ず地域医療連携センターでご予約頂きますよう、ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

▶血液・免疫科新患受付日：水・金

**●皮膚科の新患予約について**

皮膚科では新患予約を推進しており、将来的には完全予約制への移行も検討しております。

ご予約頂かなくても、紹介状のある患者さまに関しては診察させていただきますが、事前にご予約いただきますとカルテを用意しておくことが出来るなど、待ち時間を短くすることが可能となります。つきましては、患者

様をご紹介頂く際にはなるべく当院地域医療連携センターにてご予約頂きますよう、ご協力の程、よろしくお願い致します。

▶皮膚科新患受付日：月・火・水・金

ご予約  
方法

地域医療連携センターにFAXで診療予約申込書をご送付ください。折り返し10分程度で診療予約票を返送致します。

また、お手元に予約申込書がない場合にはご連絡を頂ければ至急FAXにてお送り致します。

※「診療予約申込書」はHPからダウンロードして頂く事も可能です。



●編集・発行 東北大学病院 地域医療連携センター TEL：022-717-7131 FAX：022-717-7132  
E-mail：ijik002-thk@umin.ac.jp

ご意見、ご要望がございましたら、地域医療連携センターまでお願いいたします。